

五雲会

平成三十一年三月十六日(土)

開演 十二時(正午)

開場 十一時

於 宝生能楽堂

演目の解説

12:00

箆

シテ川瀬 隆士

ワキ野口 琢弘

大鼓 大倉栄太郎
小鼓 住駒 俊介

笛 成田 寛人

ワキツレ 則久 英志
吉田 祐一

間 上杉 啓太

能「箆」(えびら)
旅の僧が須磨の生田川に通りかかり、今を盛りと咲く梅の木を眺めていると、若い男に出会った。僧が梅の木の名前を尋ねると男は「箆の梅」という名で、自分が付けた名であると答え、その源を太景季が箆の森の合戦に挿した紅梅を笠印として奮戦したことを詳しく語り、自分はその景季の幽霊であると語り、自分が若武者の姿で現れ、在りし日の戦いを再現し、供養を頼んで去って行きます。

狂言「棒縛」(ぼうしばり)

主人は、自分の留守に召使いの太郎冠者と次郎冠者が酒を盗み飲みして、と知り入ります。そこで二人をうまくだまし、一人は両手を棒にしぼりつけ、もう一人は手を後ろにしぼりつけてから出かれました。残された太郎冠者と次郎冠者は、酒のおいだけで嗅ごうと酒蔵に入り、すると、においを嗅いだ後はどうしても酒が飲みたくなくなり、太郎冠者が盃で酒を汲みませんが…。

13:15

棒縛

後見

宝生 和英
渡邊 茂人

地謡

朝倉 大輔
田崎 甫
金森 良充
藪 克徳

水上 孝史 優
武田 光夫
東川 宏司
澤田

野村万之丞

野村 万蔵
野村拳之介

能「祇王」(ぎおう)

平清盛の寵愛を一身に受ける白拍子の祇王御前は、後から都にやって来た仏御前に会おうとしない清盛を許さず、出仕を控えていたところへ、二人共清盛のもとに参上するようにと瀬尾太郎が迎えに来ます。二人は揃って出仕し、仏御前の願いも叶ったので、改めて舞を舞うために一度退場し、同じ衣装と同じ金の立て烏帽子を身につけて登場します。中之舞、曲舞を舞い、心が移つても友情は変わらない事を誓い合います。美しい二人の舞姫の相舞が見ものの小品。

祇王

ツレ當山 淳司
シテ東川 尚史

ワキ村瀬 提

大鼓 原岡 一之
小鼓 飯富 孔明

笛 藤田 貴寛

間 能村 晶人

後見

今井 泰行
小倉伸二郎

地謡

金井 賢郎
金森 隆晋
佐野 弘宜
亀井 雄二

大友 高橋 巨順
高橋 崇生
山内 和久 荘太郎

～ 休憩 十五分 ～

15:15

海人

子方水上 嘉
シテ小倉健太郎

ワキツレ 矢野 昌平

ワキ 福王 和幸

ワキツレ 村瀬 慧

間 河野 佑紀

大鼓 柿原 光博
小鼓 田邊 恭資
太鼓 大川 典良
笛 杉 信太郎

後見

三川 淳雄
佐野 登

地謡

今井 基
金野 泰大
辰巳 二郎
佐野 玄宜

野月 雄資 聡
金井 辰巳 満次郎
高橋 憲正

次回予告

平成三十一年四月二十日(土) 正午 始

志賀 和久 荘太郎

巴 今井 基

小塩 渡邊 茂人

終演予定 十六時四十五分頃